

SAFETY

安全・安心まちづくり



令和6年全国地域安全運動ポスター
全国佳作作品
高松工芸高等学校デザイン科2年
北河原 夢香 さん



令和6年全国地域安全運動ポスター
香川県最優秀作品
高松工芸高等学校デザイン科2年
岡田 麗蘭 さん

防犯ボランティアの皆様の活動により、
犯罪や交通事故の被害から多くの子どもたちが守られています。
この度、活動の一助となるよう
防犯ボランティア団体の活動事例等について
紹介させていただきました。
「できる時」に「出来る範囲」で地域を見守る目を増やし、
地域の輪を広げていきましょう。

香川県

NPO法人川東校区コミュニティ協議会 (防犯組織)

「地域の課題は地域で解決する」との精神のもと、コミュニティ協議会の組織を挙げて、平成23年12月に「川東校区コミュニティ防犯推進協議会」を立ち上げ、地域の防犯活動に取り組むこととしました。

防犯組織にはコミュニティ協議会に参加している多数の団体からご協力をいただき、令和6年度の総数は107名となっています。



『小学校の昼休みにおける見守り活動』

これまで、校区内にあるスーパーマーケットにおける万引き防止活動を実施したほか、青色防犯パトロール車による見守り活動を実施してきました。令和6年度からは小学校の先生の働き方改革と子どもたちとの触れ合いによる防犯効果を発揮するため、「川東小学校見守り隊」による小学校の昼休みにおける見守り活動を実施しています。また他にも、夏祭りにおける防犯パトロールや警備も行っています。

活動に当たっての工夫等

地域におけるその時々防犯上の大きな課題(万引き防止、青パト車による見守り、昼休みにおける見守りなど)を把握し、柔軟に対応しています。参加組織ごとに班長を選定することで、班長から班員への連絡・指示系統が出来、スムーズな連絡体制が確立しています。また、昼休みにおける見守り活動は、平日昼間なので、若い方が仕事等で参加出来ない場合があります。そのため、班の担当日を予め決めておき、班員の負担を減らすとともに、参加日を明確にすることで個人が対応しやすくしています。



昼休みの見守り

嬉しかったこと

昼休みの見守り活動では、何人もの子どもたちが大きな声で、「見守っていただきありがとうございます。」と声を掛けてくれます。この影響からか、登下校時の「おはようございます」や「さようなら」などの挨拶等も以前より活発にしてくれるようになってきました。また、子どもたちと顔と顔が見える関係も築くことが出来ており、嬉しく感じます。



昼休みの見守り

代表から ひとこと

代表 土居さん



川東校区は本当にボランティア精神が旺盛な方が多く、地域活動も大勢の方に支えられています。また、その時々課題に柔軟に対応できる体制が整えられており、活発な防犯活動が行われています。活動を支えていただいている地域の皆様方に心から感謝を申し上げます。

花園地区コミュニティ協議会 総合安全委員会

前身団体として、平成18年4月1日に児童の見守り活動を行うなど、地域の防犯意識の高揚を図ることを目的に「花園っ子見守り隊」を結成しました。その後、平成24年の花園地区組織変更に伴い、団体の名称を「花っ子見守り隊」に変更しました。

現在は、コミュニティ協議会を構成する15団体、約200名で、総合安全委員会として、子どもの見守り活動を始めとした、様々な防犯活動を行っています。



交差点での見守り

『「安全安心な住みよいまちづくり」をスローガン!』

「安全安心な住みよいまちづくり」をスローガンに、登校時のあいさつ運動、下校時や放課後子ども教室の見守り活動、青色防犯パトロール活動、「SOS看板」・「不審者Noポスター」の掲示、登下校時に合わせて花の水やりを行う「ながら見守り」等、様々な活動を行っています。今後は、従来の防犯活動を継続しながら、人と人の距離を縮めて、住民が顔見知りになるようなふれあい交流活動を行い、また挨拶をすることにより地域の防犯力の向上を目指すなど、住民に参画してもらえる活動を行っています。

活動に当たっての工夫等

2～3年毎に、警察署による「青色防犯パトロール実施者講習会」を開催し、新規証明書保持者を増やし、人員の増員を図っています。

また、3ヶ月毎に総合安全委員会を開催し、地域内構成団体と情報交換を行い、子どもの見守り活動における注意点や危険箇所、また不審者情報などを共有しています。

嬉しかったこと

青色防犯パトロール車で巡回していると、児童が手を振りながら「パトちゃ～ん!」と声を掛けてくれ、子どもたちからもとても親しまれています。

また、登下校時に地域の方に挨拶をしてくれる子どもたちの元気一杯の笑顔を見られることは嬉しい限りです。



登下校時の付き添い見守り



青パトによる見守り

代表から ひとこと

子どもからお年寄りまで、安全で安心して暮らせる住みやすい町を目指し、日常生活における住民の自然な助け合い・支え合いで、地域の問題をみんなで協議・調整し支え合うことができる「つながり」のある住みよい花園の地域づくりを進めています。

高松市
松島地区

松島地区青色防犯パトロール隊

地域における犯罪の被害を未然に防止し、「安心・安全な松島づくり」を実現するため、警察から講師をお呼びして青色防犯パトロール講習会を開催し、平成23年10月に結成に至りました。

現在は、松島地区コミュニティ協議会、松島地区連合自治会、松島地区子ども会育成連絡協議会の中から約50名の隊員で構成しています。



青パト講習会

『青パトで子どもたちの安心・安全を守る』

子どもたちの安心・安全のため、小学校下校時や放課後、土日や夏休み等の長期休暇中も、ほぼ毎日、青パトで地区内の公園や通学路を中心に巡回しています。

また、交通安全街頭キャンペーンの際にも地区内を巡回し、交通安全活動に協力しています。

活動に当たっての工夫等

小学校と連携して、翌月の行事予定表をもらい、学校行事や下校時間等を把握できるようにしています。

また、隊員全員のパトロール可能な曜日等を確認して、毎月の当番表を作成し、無理なく活動に参加してもらえるようにしています。

さらに、人員不足という課題解消のため、卒業や役員交代等で子ども会育成会の退会者が多い年度末の毎年3月に、新規隊員を募り、青パト講習会を開催しています。

高齢化や自治会・子ども会の加入率低下による人員不足という課題解消のため、今後は、地域の小・中学校の子ども達と保護者の方に青色防犯パトロール隊について紹介し、駐車場内での青パト試乗体験をする等、青色防犯パトロール隊の周知活動をしたいと思います。

嬉しかったこと

下校時のパトロール中、地域の子供達がいっぱい手を振ってくれることが嬉しいです。

また小学校の地区児童会で子ども達からお礼の手紙をいただきました。

交通安全街頭キャンペーンでの
青パト走行

下校時のパトロール

代表から
ひとこと

代表 中條さん



「私たちの暮らす地域は自分たちで守る。安心・安全な松島づくり」という設立理念のもと、引き続き活動を継続していきたいと思っています。

今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

丸亀市
綾歌町

クリックマン見守り隊

子どもたちの通学路には、防犯上においても、交通事情においても危険箇所が多く、「安心して仕事に行けない」という保護者の方々からの声がありました。

さいわい、地域には元気な中高年者が多数居り、「地域の子どもたちは地域の大人たちで守ろう」というスローガンを掲げ、2015年6月にクリックマン見守り隊が発足しました。

現在は、一般隊員88名、PTA隊員30名、企業隊員17名の合計135名で活動しています。



大パレードの状況

『「クリックマン」の誕生と見守り活動』

栗熊コミュニティのロゴマーク応募に愛らしい顔が有り、「クリックマン」と名付けて、着ぐるみ製作やイメージソング「みんなのクリックマン」をCDに、さらにダンスも考案してDVDにしました。地域のシンボルにあやかり私たちの組織を「クリックマン見守り隊」と親しみやすい呼び名にし、青パト部・散歩立哨部・ながら見守り部の3部隊構成で活動を続けています。



クリックマン

活動に当たっての工夫等

隊員と子どもたちとのコミュニケーションを図ることを目的に、入学式後の対面式を行っています。また、広報・啓発のため隊員と子どもたちが小学校からコミュニティセンターまで行進する大パレード、コミュニティまつりにおける防犯コーナーの設置、3部隊全員が参加する大意見交換会を実施しています。

さらに校区内外へのアピールとしての防犯看板、標語幟の設置、見守り隊通信の毎月発行、表彰制度、安全マップの作成等を行っています。

嬉しかったこと

見守り活動を通じて、子どもたちの成長ぶりを身近に感じられることです。また、小学校との連携も深まりました。

さらに、「クリックマン」という愛らしいキャラクターの力により、町を活性化出来たことと、地域住民の防犯意識が向上したことです。



大意見交換会



散歩立哨部とながら見守り部

代表から
ひとこと

代表 大谷さん



高齢隊員が多いですが、子どもたちから元気をもらい、出来るだけ長く、楽しい見守り活動を続けていきたいです。また、綾歌交番をはじめ、関係機関と情報交換を密にしていきたいと思いをします。

さぬき市
寒川町

本町福寿会

本会の前身となる「老人クラブ・本町福寿会」の創立は昭和48年4月で、その後、令和5年6月に、老人クラブの名称を削除し「本町福寿会」と改称しました。本会の歴史は51年に及び、現在33名で活動しています。

また、メンバーのうち4名は、寒川小学校の見守り活動を行う「寒小レンジャー」にもなっています。



『揃いのジャンパーを着用し、生活の場を利用した防犯活動』

揃いの黄色ジャンパーを着用して、春夏秋冬、毎朝登校日に、7時過ぎから約30分間、「交通安全と防犯の見守り活動」の二刀流で立哨活動を行っています。

この他にも、買い物・通院などの普段の生活の場や年間事業（通学路草刈り作業、カーブミラー磨き、神社の清掃奉仕活動、老人クラブの各種行事など）において、黄色ジャンパーを着用し、「防犯パトロール中」という「見せる防犯活動」を実践しています。

活動に当たっての工夫等

本会の活動実績を記載した「福寿会だより」を通じて会員や、さぬき市社会福祉協議会などに広報活動を行い、本会会員の意識向上、また外部への周知活動・老人クラブ活動の啓発事業を行っています。

「福寿会だより」は、平成22年の創刊以来、毎月1回の発行を維持しており、令和6年12月の発行(第172号)で14年目を迎えます。

課題は、全国共通の「後継者不足」ではありますが、魅力ある老人クラブにするための妙案は中々、見つかりません。しかし、私たちが率先して「奉仕の精神」を貫き、身を持って地道な活動を継続することが最良の策であると考えます。

嬉しかったこと

毎年3月半ば、寒川小学校の6年生から寒小レンジャーの全会員に、見守り活動へのお礼として、「児童たちからの感謝の手紙」、「学校が用意した鉢植えの花」が届けられます。

これらは私たちにとって、心温まる贈り物。いつまでも手紙を大切に保存しています。



朝の見守り活動



心温まる贈り物

代表から
ひとこと

代表 松下さん



本町福寿会は、
「～出来る人が 出来る時に 出来ることをする～」
をモットーに人のため、地域のために奉仕する団体です。
今後も地域の安全を目指して、取り組んで行きたいと思います。

防犯ボランティアが育む！ 地域と子どもたちの安全！

Go! Go!! 市民防犯推進プロジェクト主宰 市民防犯インストラクター 武田 信彦

いま、防犯ボランティアの力が欠かせない！

香川県の皆様、こんにちは！市民防犯インストラクターの武田信彦です。

私は、「**市民防犯**」を提唱し、全国各地で地域防犯に関する講演や研修、児童・生徒を対象とした防犯セミナーなどを行う専門講師として活動しています。令和6年2月には、香川県「防犯ボランティア研修・交流会」においても講師を務めました（画像1）。当日は、講義、実技、さらに参加者同士の情報交換をとおしてスキルアップ！県内各地で活躍する皆様が参加され、それぞれの活動経験を元に活発な情報交換をされていたことが印象的でした。

さて、研修会でも強調したことですが、いま、地域の安全を守るために、地域住民による防犯ボランティアが欠かせません。とくに、子どもたちの安全のためには無くてはならない存在といえます。なぜなら、①**子どもだけになりやすい環境が広がっている**から。日本では、文化習慣とともに社会政策などが重なり合って「**子どもだけ**」になりやすい環境が広がっています。さらに、②**子どもの犯罪被害が無くならない**から。全国的にみれば、性犯罪やわいせつ、略取・誘拐などの認知件数は、ここ数年横ばいの状況が続き、予断を許さない状況です。また、「前兆事案」と呼ばれる不安をおぼえる行為の件数は年々増加傾向にあります。

だからこそ、子どもたちの安全を守る頼れる存在が、防犯ボランティアの皆様です！ここでは、一般市民である皆様の防犯活動を「**市民防犯**」と表現します。現在、地域の安全を守る上では、警察による防犯＝「**警察防犯**」と「**市民防犯**」はパートナーとしての位置づけになっています（図2）。パートナーとはいえ、それぞれの得意技は異なります。警察防犯の主たる得意技は「**犯罪抑止**」です。武器の所持、権限の行使などを含み、悪意や犯意へ直接対峙するので「**直接的防犯**」とも表現しています。一方、市民防犯の得意技は「**犯罪防止**」です。武器の所持や力の行使は含まれず、「**犯罪が起きにくい環境づくり**」や「**助け合いの環境づくり**」を目指すことが主たる目的です。悪意や犯意と直接対峙することを目的とせず、地域の人々が緩やかにつながり合う環境づくりをとおして安全を守るので「**間接的防犯**」とも表現することができます。

市民防犯を実践する上で重要なのは、“監視”のような厳しい気持ちではなく、優しい気持ち100%で取り組む姿勢です。その実践のあり方を表す言葉が、「**見守り**」なのです！地域住民や子どもたちへ意識を向け、笑顔とあいさつをとおして安全を守る。まさに日本の地域で育まれてきた「安全文化」ともいえる取り組みなのです。



画像1 | 防犯ボランティア研修・交流会

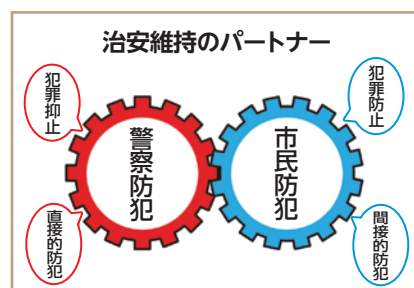


図2 | 警察防犯と市民防犯

防犯ボランティアの効果とは?!

さて、防犯ボランティアに取り組む上で重要なことは、市民防犯の効果を正しく理解することです。ここでは、**市民防犯＝「犯罪防止」「間接的防犯」**の効果について解説します。犯罪防止として一番期待できるのは、①**姿を見せることで犯罪が起きにくくなる効果**です(図3)。悪意・犯意を抱える者の中でも、「自然監視」と呼ばれるような、人がいる、人に見られることで悪意や犯意が萎えるタイプに対して大きな効果を発揮します。とくに、子どもや女性を狙う犯罪に多くみられるタイプのため、**防犯ボランティアの存在そのものが大きな安全バリアとなり得ます**。「姿を見せる」ことこそが防犯活動のコツとも言えます。

さらに、市民防犯が生み出す効果はまだあります(図4)。たとえば、いま全国で発生している匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)等による侵入強盗事件。各地での重大な被害とともに社会に不安を広げています。市民防犯の領域内で強盗被害防止のためにもできることが、②**一人ひとりの防犯意識を高める効果**です。玄関と勝手口は常に施錠する、就寝時は手が届くところに携帯電話を置いておく、敷地や家の周りで異様な音や気配を察知したらすぐに110番通報する…等の情報を地域住民の皆さんへ伝えることで犯罪への免疫力アップ、個々人の防犯意識の向上につながります。

そして、防犯活動をととして所轄の警察、自治体、学校や教育委員会、自治会、NPO等の関係機関の担当者と顔見知りになることで、③**関係機関等との協働・連携が活性化する効果**も生まれます。これは、地域の中で異変や問題等をみつけた際の通報・連絡・相談の土壌となるもので、課題やリスクが重大化する前に対処できる環境づくりにつながります。さらに、忘れてはいけない効果がもうひとつ！安全とともに広がる④**安心感を広げる効果**です。地域住民や子どもたちを見守り、あいさつや健全な声かけを行うことで「見守ってくれている!」「相談ができる!」といった安心感が広がります。警察や自治体等の防犯活動も重要ですが、とくに安心感の創出については、地域住民同士の間でこそ生まれやすいものではないでしょうか(図5)。



図3 | 姿を見せる効果



図4 | 市民防犯の効果



図5 | 安心感

防犯ボランティアを元気にするために!

さて、地域や子どもたちの安全に欠かせない存在の防犯ボランティアですが、最近ではメンバー不足などの課題も聞かれるようになりました。「地域防犯力の向上」は全国的なテーマとなっていますが、私の視点から元気にするためのポイントを紹介します(図6)。

1) 既存の防犯力を元気にしよう!

既に活躍されている防犯ボランティアのみなさんが、やる気を維持して元気に活動いただける環境づくりやサポートが欠かせません。そして、やる気を維持するために大切なことは、防

犯ボランティアの意義や効果についての再確認です。「私たちは、地域で求められている！」という意識こそ、活動継続のためのエネルギーとなるからです。そのためには、定期的にふりかえりや研修を行うことがおすすめです。また、「継続のコツ」としては、①無理をしない、②活動の幅を広げる、③活動内容を発信する、④世代をまぜる、⑤楽しい雰囲気で行き組む！…など、視野を広げ、明るい気持ちで行き組むことが何より大切です！

2) 潜在的な防犯力を掘り起こそう！

潜在的な防犯力とは、関心はあるものの防犯活動へ参加する“きっかけ”が見出せないでいる個人や団体をもつ底力のことです。たとえば、「地域貢献活動をしたい！」と考える地元企業等による営業や移動中の見守りも効果的です。さらに、保護者の皆様の中で「通学に付き添いたい」「途中まで迎えに行きたい」などの想いがある方たちが、子どもたちに付き添う、さらに、周囲の子どもたちへも関心を向けていただければ、それは大きな防犯力となり得ます。普段の生活の中では、保護者が子どもに寄り添うことが難しい状況・環境も増えていますが、一方で「付き添いたい」と考えている保護者の皆様が一歩踏み出せる環境づくりや後押しも大切なことです。

3) 新たな防犯力を生み出そう！

これからの防犯ボランティアを元気にするためには、新たな発想やアイデアを活かして活性化する視点も必要です。たとえば、愛犬の散歩＋見守り、ジョギング＋見守り、街の清掃＋見守りなどは、まさに好例です。新たに生み出される技術やサービス等の中にも、地域の見守り・助け合いに活用できる要素を見つけることができるかもしれません。

そして、いま、全国的に広がる「学生防犯ボランティア」は、長年取り組まれた防犯ボランティアのみなさんが生み出した、まさに「新たな防犯力」といえる底力ではないでしょうか。地域のみなさんが防犯活動を定着させ、見守りや助け合いの大切さを伝え続けたことが、学生たちが地域防犯へ参加できる土台となっているからです！

防犯力向上のためのポイント

- ▶ 既存の防犯力の活性化！
- ▶ 潜在的な防犯力の掘り起こし！
- ▶ 新しい防犯力の創出！
多様な担い手による、
多様な防犯スタイルの推進！

きっかけ
づくり

図6 | 地域防犯力向上

むすびに

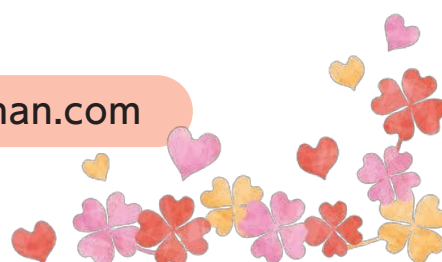
この記事をお読みいただいた皆様が、それぞれの地域で継続されてきた防犯ボランティアは、安全文化ともいえる宝物です。

見守り・助け合いの取り組みは、変化を続ける時代の中、子どもたちの安全のみならず、地域で暮らす人々の孤立・孤独等の解消のためにも力を発揮できると思います。

無理せず、健康に気を付けて、明るい気持ちで行き組んでくださいね！

Go! Go!! 市民防犯推進プロジェクトのホームページでは、地域防犯や個人の防犯対策に役立つ情報や資料を公開しています。ぜひ活用ください。

ホームページアドレス <https://shiminbouhan.com>



香川県警察からのお知らせ

香川県警察では、スマホアプリ「ヨイチポリス」で香川県内の犯罪発生情報や交通事故情報、それらの対策情報などをお届けしています。
「ながら見守り活動」などの防犯ボランティア活動の際に活用してください。

香川県警察 安全・安心アプリ

ヨイチポリス

今すぐ
ダウンロード

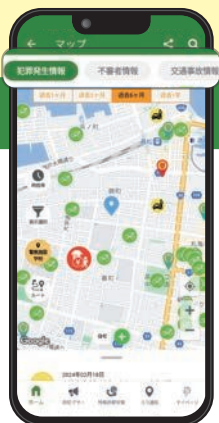
インストールはこちらから

🔍 ヨイチポリス



App Store
からダウンロード

Google Play
で手に入れよう



身の回りで起きた事件・事故をいつでも確認！

安全・安心マップ

ヨイチメール

犯罪・不審者・交通事故・交通取締り情報を
マップで確認することができるほか、
タイムリーな情報をヨイチメールでお届けします。



みんなで地域の安全・安心を守ろう！

見守り活動
レッツ！パトロール

パトロールをした時間や場所が
記録できます。
パトロールした時間に応じて
ポイントをゲットし、
アプリ内ゲームを楽しむことができます。



防犯ブザー機能や
事前に登録した家族等に
位置情報を送れる
便利な機能があるほか、
重大な事件・事故の
公開捜査情報の
配信もしています。

香川県警察本部 TEL:087-833-0110



作成

香川県危機管理局くらし安全安心課
安全・安心まちづくりグループ

TEL:087-832-3232